

平成30年度 事業報告書

大慈デイサービスセンター

1. <基本方針>

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」を基本方針として、要援護の高齢者がより自律的な生活を可能な限り自立して安らかに営むこと、社会的孤立感を解消すること、心身機能の維持、向上を図ることを目的として高齢者自身を援助することの他、介護する家族の身体的・精神的負担を軽減できるよう努力し、在宅での介護が中心となるデイサービスの利用者に対し、ケガ・事故の無い様に細心の注意を払い、より良い環境でのサービスを提供していく。

2. <平成30年度重点目標>

『ADLが維持できるデイサービスの実現』

3. <部門別目標>

<ケア部門>

① I ADL(手段的日常生活動作)を維持する事で在宅での生活を安心して送れる。

洗濯サービス、重度利用者の増加により、下膳や洗濯物畳みなど業務内容が変更されつつあるために、利用者に手伝っていただく風景が当たり前となっている。個性を活かした参加や活動を目的に利用者と共に作業を行っているのが特徴の一つとなる。今年度多かった利用は、自宅に引きこもってしまう困難事例が2件あり、今では食事・入浴等、生活サイクルが安定されたことで、喜んで通所頂くまでとなった。このことから、ADLの向上を図れていると考えている。

② 職員の介護技術スキルアップを目指す

過介助の廃止については、意識できており、極力車椅子に頼らずに歩行機会を増やす事を行った。OJTの参加についてはあまり出来ず、次年度は呼びかけたいと思う。

<経営部門>

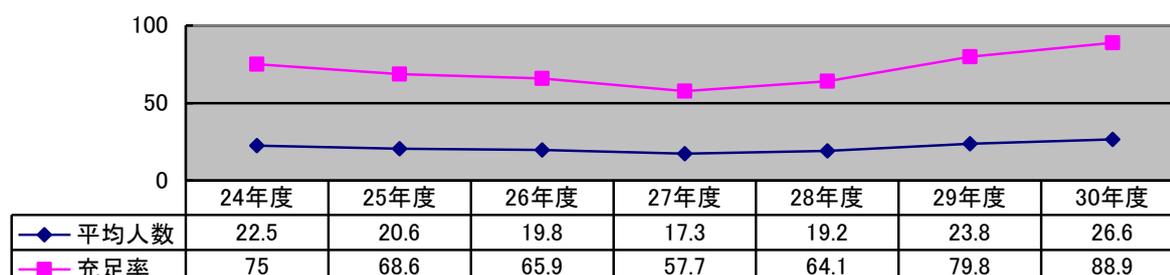
① 充足率65%維持及び登録者25名を目指し、経営基盤の安定を図る。

② 広報戦略を練り、新規顧客獲得を目指す。

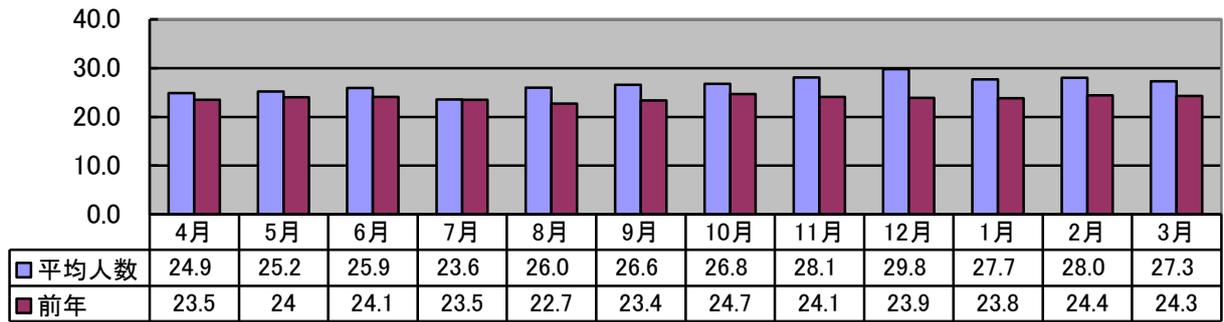
③ 生活機能の維持・向上を目指す。

前年度より9.1%の増加があり、更に上昇する事が出来た。年間平均として89%台となり、利用回数の増加依頼や、新規利用者についても週2回以上からの依頼が多い年度であった。

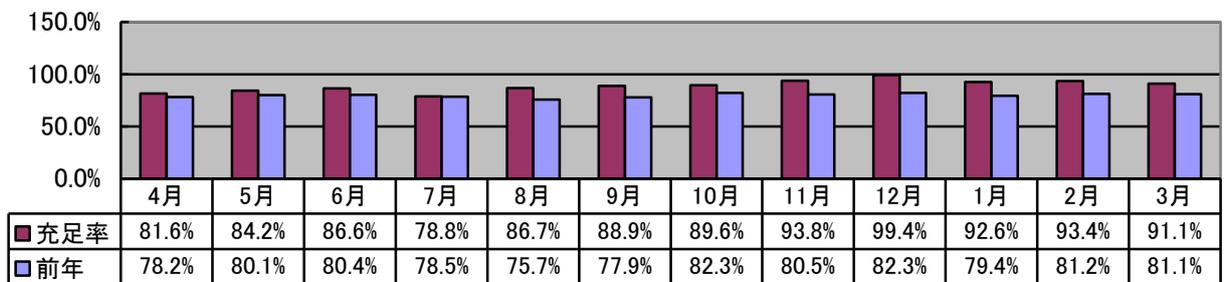
30年度別推移



30年度月別人数推移



30年度月別充足率推移



●主な欠席理由

月	営業日数	体調不良	私用	入院	SS	警報	合計
4月	25日	18	17	16	31	0	82
5月	27日	18	19	7	34	0	78
6月	26日	11	22	4	46	0	83
7月	26日	15	22	6	31	95	169
8月	27日	7	17	9	11	0	44
9月	26日	6	17	22	27	31	103
10月	26日	11	12	42	45	0	110
11月	26日	20	17	22	44	0	103
12月	26日	22	20	15	41	0	98
1月	26日	31	30	13	42	0	116
2月	24日	24	15	13	41	0	93
3月	27日	15	12	27	59	0	86
計	合計	198	220人	196人	452人	126人	1192人
	月均	16.5	18.3人	16.3人	37.6人	10.5人	99.2人

●加算等別件数

		前年度	平均	差
個機能訓練加算Ⅱ	人数	5.8	4.3	-1.5
	回数	58.7	44.1	-14.6
運動機能向上加算	人数	0.9	0.9	0.0
洗濯サービス	人数	22.3	26.0	3.7
園芸療法	人数	2.9	2.9	0.0
学習療法	人数	4.7	2.9	0.3
弁当	人数	7.8	5.0	3.6
	回数	81.9	148.9	67.0

●介護度別年齢別等人数表

平成31年3月31日時点での実人数

要介護度	30年度				29年度			
	合計人数	男	女	平均	合計人数	男	女	平均
支援1	85	26	59	85.2歳	59	27	32	84.5歳
支援2	60	21	39	86.2歳	38	0	38	87.2歳
1	311	109	202	86.5歳	252	60	192	86.6歳
2	160	67	93	88.4歳	152	69	83	87.3歳
3	192	78	114	83.6歳	168	75	93	82.3歳
4	77	18	59	86.7歳	47	8	39	85.7歳
5	103	38	65	80.7歳	62	13	49	79.8歳
合計	988	357	631		778	225	456	
平均介護度		2.4	2.4	2.4		2.4	2.3	2.3
平均年齢		82歳	87.5歳	84.7歳		81.7歳	87.0歳	85.1歳
最高年齢		95歳	100歳	84.5歳		93歳	98歳	
最小年齢		66歳	56歳			69歳	55歳	

<栄養科>

- ① 調理の味と質の安定を図る
- ② 毎日笑顔になれる食事の提供

調理の質と安定を図るについては、3ヵ年計画として本年度が3年目であり、昨年度までやその都度マニュアルが必要なメニューを挙げ、主菜・副菜の調理マニュアルを53枚作成することが出来た。実際マニュアルを使用するところまでは出来なかったが、マニュアルの完成度は高く、今後新しい委託業者へ変更も検討していることから新規参入時においては活用できると考える。また、本年度において以前まではメニュー改善は主に栄養士と調理スタッフでの意見交換した内容が反映されることが多かったが、検食簿よりゲスト様や現場スタッフからの意見を抽出し、給食会議においてメニュー改善の意見交換を行い、献立改善へ展開する機会を積極的に持てたことはよかった。今後も継続して多職種で園の食事について考えていきたい。

笑顔になれる食事の提供として、今まで行ったことがない行事食を本年度はたくさん

盛り込むことや食事アンケートの結果を誕生日週間に反映させるなど、ゲスト様のニーズに寄り添った食事提供につとめることで大変喜んで頂くことが出来た。今後もゲスト様のニーズを汲み取り、食事提供に反映させていきたい。

●年間行事食

日付	行事名
4月	園庭花見、天ぷらバイキング、
5月	母の日週間、お好み焼き・パンバイキング、
6月	焼き鳥バイキング、父の日週間、
7月	七夕週間、洋食バイキング
8月	土鍋バイキング
9月	敬老週間、
10月	手巻き寿司・パンバイキング
11月	串揚げ
12月	焼肉バイキング、クリスマス週間
1月	餅つき週間、お好み焼きバイキング
2月	おでんバイキング、ひな祭り週間
3月	おでんバイキング、ひな祭り週間

※ 毎月 誕生日週間

<看護部>

① 異常の早期発見

デイサービスでの看護師の役割として、異常の早期発見と緊急時の対応が非常に重要であり知識の向上とスキルアップを目指し努力していく必要がある。またレクリエーションなどにも参加し日々の業務の中でCWとコミュニケーションを図りながら連携強化に努め、ゲストに適切なケアが提供出来るように努力していきたい。

<理学療法科>

① 個別機能訓練の充実

② 機能レベル維持・向上が出来るデイサービス作り

③ 在宅生活における相談に対して、適切なアドバイスができる

機能レベルを維持する事が出来ていたが、年度後半において対象ゲストの減少（入所・永眠等）により、個別機能訓練加算の算定を中止となる。既存の対象ゲストに対しては、サービス提供として、継続して運動を実施している。ゲストの相談等に対する対応は、随時対応している。生活内における軽微な運動等についてのアドバイスも同時に実施している。実施までには至っていない為、これらを実施出来る体制を作って行きたいと考えている。

4.<施設整備等>

建物や設備の老朽化に伴い、施設環境整備を行う。

項目
浴室内のタイル張り替え工事
浴槽用濾過機交換工事
ボイラー交換工事
排煙装置修繕工事
複合コピー機交換
天井パネルの漏水改修工事

排水ポンプの交換工事
特殊機械浴層交換
和室の改修工事

5. <<会議の実施内容・反省点>>

- ①デイ検討委員会 ②デイ部会

6. <<職員会議・OFF-JT>>

☆ 弥勒園同様

7. <<行事の実施内容・反省点>>

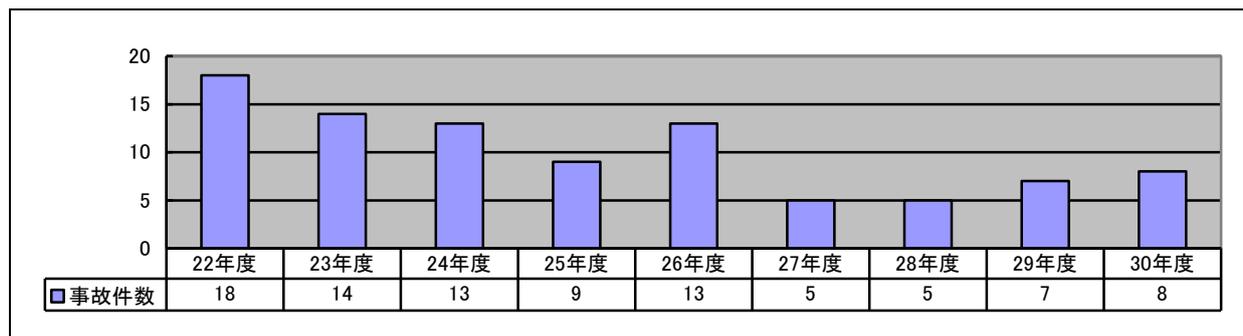
●年間行事

行事名	時期
園庭お花見	4/2～4/7
母の日会	5/7～5/11
買い物ツアー①	5/13～5/27
父の日会	6/11～/16
七夕週間	7/2～7/7
デイサービス夏祭り	8/6～8/11
買い物ツアー②	9/17～9/29
敬老会	9/10～9/15
秋の外出・須磨水族園&ランチ バイキング&道の駅あわじ	10/1～10/20 11/20 11/29
クリスマス会	12/19～12/25
初詣	1/2～1/6
もちつき大会	1/7～1/12
買い物ツアー③	3/11～3/23

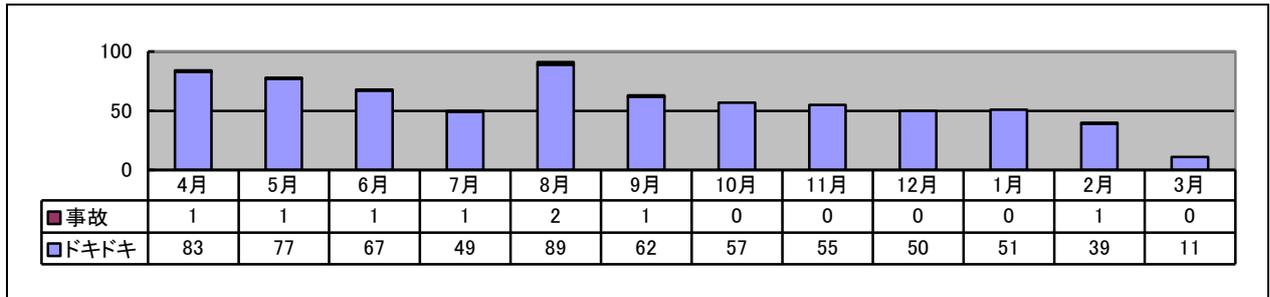
8. <<リスクマネジメント報告>>

☆事故の定義・・・膝が地面に接地した時点で事故とみなす。

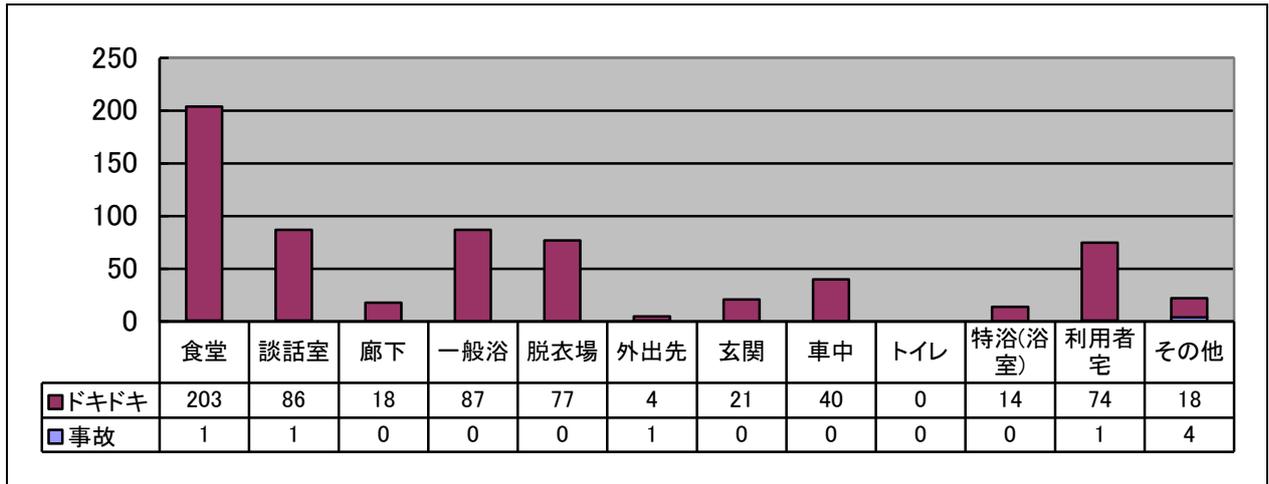
- ①報告件数・・・ 698件（事故8件、ドキドキ690件）
前年度734件（事故7件、ドキドキ727件）



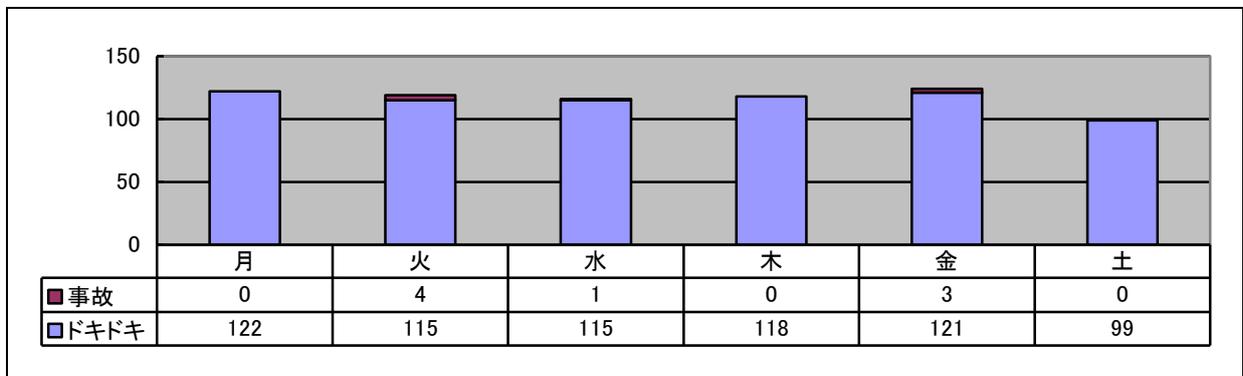
<平成30年度月別事故・ドキドキ件数>



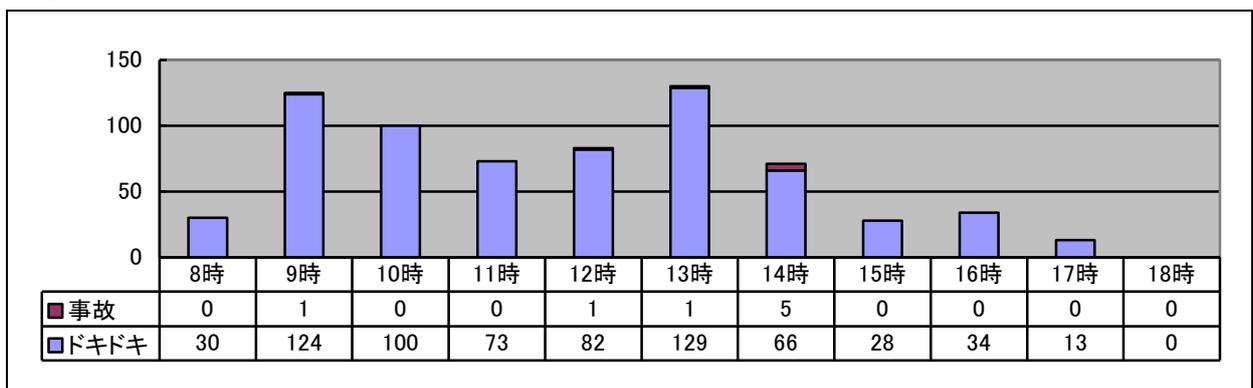
① 発生場所別件数



② 発生曜日別件数



③ 時間帯別件数



④ リスク面まとめ

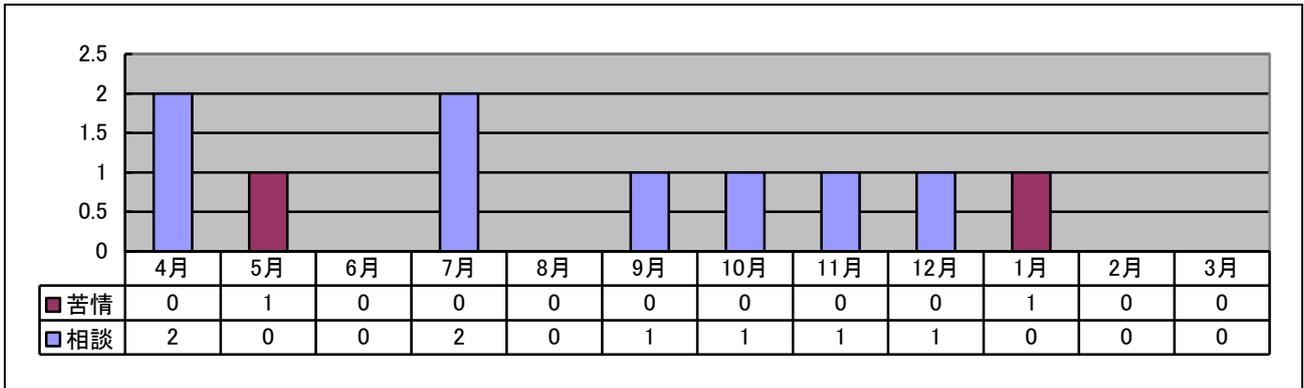
前年度より1件増加。特に内容面では、依然として転倒による搬送・西神南までの離園事故による重篤な物が多くある。

9. 《苦情・相談報告》

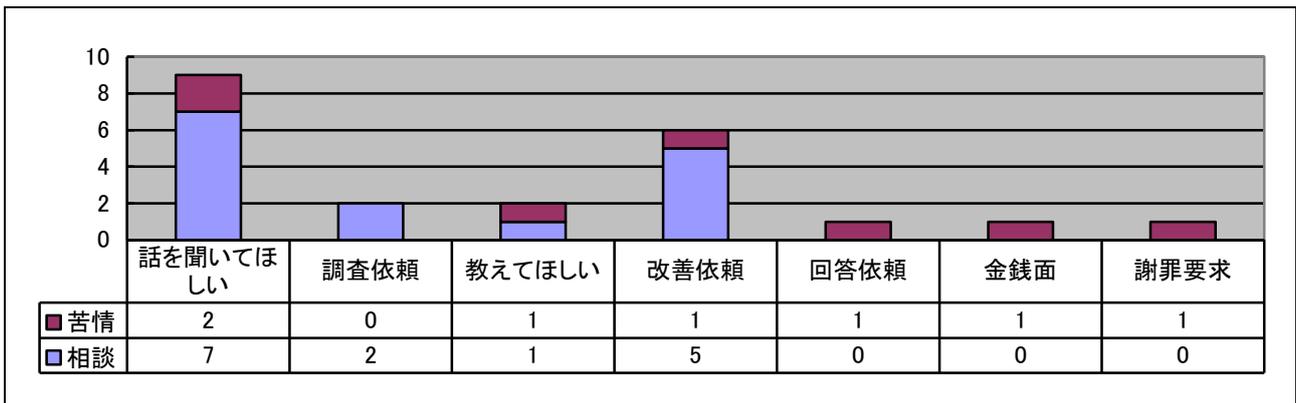
苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

① 報告件数・・・10件（苦情報告2件、相談報告8件）

前年度・・・9件（苦情報告2件、相談報告7件）



② 要望分類



③ まとめ

件数の多くは利用者本人よりも家族・ケアマネジャーよりの声が多くある。報告ミスなども多い為伝え忘れなどを減らして状況説明などをこまめに行っていく、次年度はトラブルに繋がらないようにしたいと考えている。

10. 《総括》

前年度と比較し、問い合わせ・利用回数の増加も多くあり、平均充足率を90%台までに大幅に引き上げる事に成功した。中重度型3年目となり利用時間を10月に7時間～8時間へ統一した。利用促進を勧めた体験DSも好評のようで特色として売り出す事が出来た。問い合わせの内容も「まずは利用を促したいので体験を複数回お願いしたい。」といった事が多く契約に繋がる事が多くあった。

契約率については30年度74%(前年度68%)となっており少し上昇傾向である。預かり型となりがちサービスの内容を少しでもADL上昇が出来るデイサービスと提供できるように努めたい。

